

「すべての民を救う神」

(マタイによる福音書2:1-12)

今日の福音は、1月6日の顕現日と同じ箇所です。異邦人である博士たちに救い主の誕生が知らされることで、神の救いがユダヤの民に留まらず、全ての民に及ぶことが明らかにされたことを、顕現日は祝います。イスラエルの民の救いから全人類の救いへ。ユダヤ人が救われ、異邦人は救われない、という救済観の大転換です。イエス・キリストによるこの大転換があったから、今、わたしたちのところへも福音が届けられています。

この出来事に象徴されるように、イエス・キリストの誕生は旧約の時代からの決定的な移り変わりを表します。民族や性別、あらゆる違いを超えて、すべての人間に神さまの愛が注がれていること、救いが訪れることが、イエス・キリストによって明らかにされました。神がこの世に介入し、救い主がお生まれになる。そして、すべての民に救いが訪れる。エフェソの信徒への手紙では、このことを「キリストによって実現される秘められた計画」（エフェソの信徒への手紙3:3）と言っています。「この計画は、キリスト以前の時代の子らには知らされていませんでしたが、今や“霊”によって、キリストの聖なる使徒や預言者たちに啓示されました。すなわち、異邦人が福音によってキリスト・イエスにおいて、約束されたものをわたしたちと一緒に受け継ぐ者、同じ体に属するもの、同じ約束にあずかる者となるということです。」さらには、「わたしたちは主キリストに結ばれており、キリストに対する信仰により、確信をもって、大胆に神に近づくことができます。」（同3:5～）と記されています。

主なる神は星によって博士たちを救い主のところへと導きました。それと同じように、あらゆる被造物を通して、神はわたしたちにメッセージを送り、それによって御子のもとへとわたしたちを導いておられます。博士たちがそれに気が付き、従ったさきに馬小屋にたどり着いたように、わたしたちも目を凝らし、耳を澄ませ、あらゆる物を通して語られる神のメッセージに気が付き、従うなら、博士たちのようにキリストに出会い、キリストを拝む喜びに与ります。そしてわたしたちがその御子による救いを信じて生きるならば、すべての民への救いが、わたしたち自身にも訪れます。この喜びの旅へ出かけないなんて、なんともったいないことでしょう！